



高橋 千香医師
(東京都北区保健所 保健予防課)
Chika Takahashi

地域の保健を守るため 多職種や関係機関を コーディネートする

—— 医学生にとって、保健所のお仕事というのはなかなかイメージが湧きにくいものだと思います。まずは、先生が公衆衛生医師として働くに至った経緯を教えてくださいませんか？

高橋（以下、高）…私は学生時代には地域保健に関心があり、地域保健研究会という部活に所属していました。医療過疎の地域に泊まり込んで地域の方へ健康教育を行うなどの活動を通じて、地域住民の方にじっくり関われる仕事に惹かれていきました。卒業後すぐは、一般的な肺炎などから専門的な疾患まで幅広く学びたいと、大学病院の呼吸器内科に進みました。しかし、医

局には育児をしながら仕事を続けている女性の先輩はほとんどいませんでした。私は結婚も出産もしたかったので、大学病院以外の道も考えるようになりま

高…はい。研究生活を続けるなかで「やっぱり人と会って話すことが好きだな」と思うようになり、大学には残らず、平成22年に東京都に就職しました。—— これまで、どのようなお仕事を

感染症対策の取り組み

—— 博士課程修了後、すぐに公衆衛生医師になられたんですね。高…はい。研究生活を続けるなかで「やっぱり人と会って話すことが好きだな」と思うようになり、大学には残らず、平成22年に東京都に就職しました。—— これまで、どのようなお仕事を

高…入職後は、多摩小平保健所の感染症対策担当係長に任命されました。保健師5名と私の6名体制で、初めの頃は保健師さんたちから手取り足取り教えていた。だんだんながら仕事をしています。

その部署では基本的にあらゆる感染症を扱うのですが、特に多かったのは結核関係の業務です。患者数は以前に比べ減少していますが、保健所の感染症業務の中では未だに大部分を占めています。印象に残っているのは、ある学校で、先生が結核になってしまった事例です。子どもたちの接触者健診のため、地域の病院の小児科の先生方にご協力をお願いしたり、保護者の方への説明会を行ったりと、休む暇もない日々でした。事例を綿密に調査し、専門家を集めて委員会を開き、対策の計画を立てて実行するという一連の流れを経験したことは非常に勉強になりました。

視野が広がっていく喜び

—— 先生は今、北区保健所の保健予防課長として働かれていますね。課長という立場になりました。業務内容は変わりましたか？

高…そうですね。それまでは患者さんや現場の医師と直接やりとりすることが多かったのですが、課長になると、普段接するのは病院の管理者や医師会の理事といった方々です。同じ感染症対策でも、先程の結核の事例のように緊急時に現場に向かうというよりは、関係機関の間で普段から連携体制を作っておく

ための方策などを話し合うようになります。

—— 現場から離れてしまった、といった感覚はありませんか？

高…確かに地域住民の方と接する機会は減ったのですが、地域保健の向上のため関係機関を調整し、事業を進めることにも、また違った面白さがあります。関わっている事業の存続が決まったり、新事業の予算が取れたときはやりがいを感じます。

現場から離れても、医師としての職能を活かせる場面は色々あります。保健所には、保健師や精神保健福祉士など、様々な職種の職員がいます。また、所外では、医療系の職種の方はもちろん、区議会議員など、医療職以外の方とお話する機会も多

—— 職場や役場によって色々な種類の仕事を体験できるというのは、面白そうですね。

高…はい。若いうちは制度や仕組みに縛られてもかしい思いをするかもしれませんが、職階が上がると、仕組みそのものに働きかけられるようになる。私自身、見える世界もできることと思うと、すごく楽しみです。

19 96	東京女子医科大学医学部入学
20 02	東京医療センターにて臨床研修
20 04	東京女子医科大学大学院入学（公衆衛生分野）、結婚
20 06	東京女子医科大学大学院入学（公衆衛生分野）、結婚
20 10	大学院修了、学位取得（3月） 東京都入職（多摩小平保健所 感染症対策担当係長）
20 12	第1子出産
20 15	北区保健所 保健予防課長

学生時代は「地域保健研究会」という部活動に所属。医療過疎地域で合宿を行い、地元の人々の家を訪問して健康について話したり、保健師さんにその地区の問題点を聞いたりする活動を通して、地域保健に興味を持った。

この時点ではまだ公衆衛生分野へ進むことは考えておらず、地域で活躍できる臨床医を目指していた。

臨床が予想以上に忙しく、結婚や出産をしても仕事を続けられるかどうか悩んだ。「地域のために働く医師になりたい」という学生時代の思いに立ち返り、地域保健を支えていく公衆衛生分野に進むことを決めた。

係長時代は患者や住民と直接会う機会が多かったが、課長になると、病院の管理者や医師会など関係機関との連絡・調整業務が多くなった。

1 day

21:30 子どもの就寝
19:00 夕食
18:30 保育園へお迎え、帰宅
17:15 退勤
12:00 昼休憩
8:30 出勤
5:30 起床、家事

一般的な業務は、会議や資料作成など、デスクワークが中心です。感染症発生時には病院や施設へ調査に行くこともあります。

子どもが寝た後の時間を、文献検索や資料確認などに充てることもあります。

夜間に開催される会議や勉強会も多く、家族の理解と協力を得ながら対応しています。

高橋 千香
2002年
東京女子医科大学医学部卒業
2017年1月現在
東京都北区保健所 保健予防課長

